

連載
第5回

教師としての視野を広げる！ 世界の日本人学校 マンスリーレポート

グローバルな現代社会。教室には、海外につながるのある子供たちも少なくありません！
教師としての国際感覚を磨くため、海外の日本人学校の様子を毎月レポートします。

在外教育施設について

海外で日本の教育を受けることのできる教育施設で、「日本人学校」「補習授業校」等があります。現在、保護者の勤務の都合等で海外に滞在している日本の子どもたちは約8万3000人。このうち、約4万1000人が在外教育施設で学んでいます。

シンガポール日本人学校 小学部 森角 敦(もりかく あつし)

シンガポール日本人学校小学部クレメンティ校在籍中で、4年生から6年生までの音楽を担当。ICTを活用した指導が好評で、授業を真似る教員が続出している。

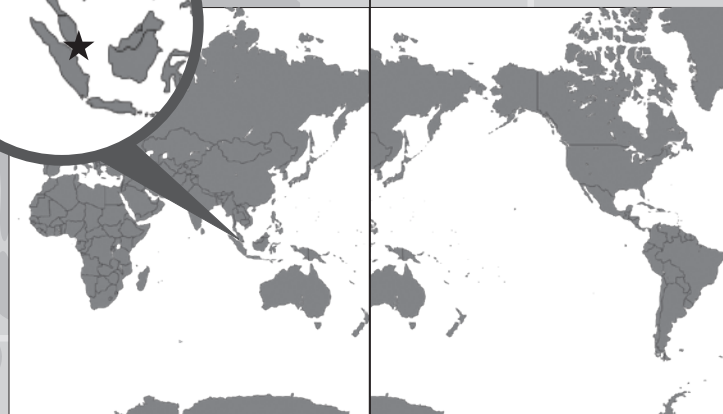


1 赴任したきっかけを教えてください

私が中学生だった頃の担任の先生が、在外教育施設から帰ってきたばかりの先生でした。よく中国語で「頑張れ！」という意味の「加油！！」という文字を日記帳にコメントとして書いてもらっていました。大学生になると、青年海外協力隊としてモンゴルへ行った先輩の話の聞いたり、自分自身もピアノのレッスンを受けに海外へ行ったりした経験から、海外で働きたいという想いが強く、「海外子女教育振興財団 (JOES)」へ応募しました。第1期募集では書類選考を通過することができませんでした。あきらめずに第2期募集も応募したところ、現在の勤務校であるシンガポール日本人学校に採用していただきました。



学校からの帰り道



2 学校の概要を教えてください

シンガポール日本人学校は、小学部2校と中学部の3校体制からなる大規模校です。現時点では児童生徒数が2,250名を越えており、世界の日本人学校の中で3番目の規模となっています。2016年には学校創立50周年を迎え、記念行事も行われました。年間で100名を超える児童の転出入があり、子どもたちは新しい友達と仲良くなる力が非常に高いです。最近では学校の図書館が新しくなり、日本よりも恵まれた環境で子どもたちは伸び伸びと学習しています。



たてわり行事

海外で働く 学校採用教員Q&A

- Q9 学校採用教員の募集方法は？【4月以外の赴任】
A9 4月以外で学校が希望する時期(学期途中など)に赴任する教員の募集情報の掲載を随時行っております。
- Q10 選考方法は？
A10 応募書類等は学校に直接送付し、学校による書類選考や面接選考等を経て、指定日に赴任していただきます。

海外子女教育振興財団

海外子女教育振興財団 (Japan Overseas Educational Services=JOES) は、1971年に外務省及び文部省(現文部科学省)の共管の財団法人として設立され、2011年には内閣府の認可を受け公益財団法人となりました。設立以来、海外子女・帰国子女教育の振興を図るため幅広い事業を実施しており、学校採用教員の雇用支援もその一環として行っています。

日本人学校等学校採用教員雇用支援、「学校採用教員レポート」などについて、詳しくはこちらから<http://www.joes.or.jp>



3 この国の学校ならではの！という特徴は何ですか？

本校ではICT教育に力を入れており、私の勤務しているクレメンティ小学校では約800名の児童に対して600台のChromebookを所有しています。4年生からはひとり一台を教室に常設し、次世代型の授業を行い、新しい授業スタイルを近隣諸国の日本人学校や日本の学校へ提案しています。情報委員会の子どもたちが主催するタイピングコンテストというイベントも、この学校の特徴ではないでしょうか。他にも、現地校との交流や、リトルインディア、チャイナタウンへの遠足、現地日本企業への社会科見学などがあり、国際社会を肌で感じることができます。



遠足

4 学校で勤務した感想を教えてください

とにかくスピード感がすごいです。子どもたちの学力は有名私立と同等のものを持っており、教員にも同等以上のレベルが要求されます。本校の学校教育目標であるICT化も、みるみるうちにChromebookが入り、子どもたちの学びが進化していきました。本年度はICT主任を担当させていただき、各都道府県から選ばれた先生方のサポートを受けながら、自分のアイデアが実際に形になっていくことに喜びを感じます。最近では、本校にICT教育の視察で来校してくださった先生方とお話するのも楽しみです。



ICTを活用した授業

5 教え子が帰国したとき、日本の先生方に伝えたい伝達事項は何ですか？

うちの子どもたちはすごい！！と、日本の先生方だけでなく、世界中に発信したいです。協働的に学び、助け合いながら成長していく姿勢や、国際的感覚を身に付けながらも日本人としての礼儀や思いやりの心を大切にしています。子どもたちが将来、日本や世界の未来を担っていく中心人物になることを信じて、たくさんのお話を聞かせていただきました。本校に通ってくれた子どもたちはきっと、少しでも未来人になって日本に帰るのだと思います。そんな子どもたちから未来のエネルギーを受け取り、日本中に広げて欲しいです。



運動会